

報道関係者各位

平成 24 年 2 月 29 日

**アバゴ・テクノロジー、
データセンターのスイッチング効率改善と帯域幅の拡張を可能にした
光ファイバ・モジュールを発表**

**40 ギガビット QSFP+アプリケーションと 10 ギガビット SFP+部品を
400 メートルで相互に動作可能、高密度ネットワーク・スイッチを可能に**

アバゴ・テクノロジー株式会社(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:米山周)は、本日、データセンターでスイッチングの効率改善と帯域幅の拡張を可能にする光ファイバ・モジュール・ソリューションを発表しました。パラレル接続が可能な新しいオプティカル QSFP+eSR4 トランシーバは、40 ギガビット(40G)と 10 ギガビット(10G)イーサネットの両方に対応する初のモジュールであり、リンク距離 400m を実証しています。これにより、データセンターは、40G へのアップグレード時に、現在の 10G ワイヤ・インフラを再使用できるという融通性が得られるため、大きなコストの節約となります。アバゴの QSFP+eSR4 モジュールは、各方向の 4 本の 10G レーンを内蔵してラインカード内の帯域幅を 3 倍以上拡張しますが、使用電力は 1 レーン SFP+モジュールの 50%となります。

サーバの仮想化、クラウド・コンピューティングの成長、ネットワーク集約化の流れなどにより、より高速でより効率的なデータセンター・ネットワークへの要求が高まっています。現在の 10G スイッチは、SFP+フォームファクタの物理的なサイズの制限により、ラインカードあたり 48 個の 10G チャネルから構成されています。アバゴの QSFP+eSR4 モジュールを使用することで、ラインカードあたり最大 44 個の QSFP+ポートで、トップ・オブ・ラック(top-of-rack)型、ブレード型、モジュラ型スイッチを開発でき、帯域幅拡張のニーズに対応できます。これにより、現在は 48 個の SFP+チャネルですが、QSFP+で 176 個の 10G チャネルが利用可能になります。QSFP+eSR4 モジュールは、高密度 10G および 40G イーサネットの集約された用途に、レイテンシの短縮、レーンあたりの消費電力の減少によるポートの高密度化を可能とし、様々なレベルのスイッチに接続できる柔軟性を提供します。

アバゴ・テクノロジーはまた、本日、OM3 マルチモードファイバ(MMF)では最大 100m、OM4 MMF では最大 150m の 10G SFP+リンクの相互間動作が可能な QSFP+eSR4 を量産することを発表しました。QSFP+eSR4 バージョンは、OM3 MMF で到達度を 300m、OM4 MMF で到達度を 400m まで拡張します。アバゴは、今夏までに QSFP+eSR4 モジュールのサンプルを試供する予定です。

「アバゴは、以前からお客様およびパートナーと協力して設計上の課題に取り組み、帯域幅拡張のニーズに応えながら技術ソリューションの開発に取り組んできました。アバゴでは、昨年業界初の 40G イーサネット SR4 モジュールを発売しました。アバゴの新しい QSFP+eSR4 と eSR4 のモジュールによりデータセンターは、より簡単な移行経路でイーサネットを 10G から 40G へとアップグレードして到達距離を延長することが可能になります」と、アバゴ・テクノロジーのファイバ・オプティック製品事業部担当副社長 兼 ゼネラルマネージャーのフィリップ・ガッド氏はコメントしています。

また、Corning Cable Systems 社の技術担当マネージャのダグ・コールマン氏は、「Corning® ClearCurve® OM3 および OM4 マルチモード・ファイバなど、当社の多様な光ファイバ・ケーブルをアバゴのパラレル・オプティック・トランシーバで試験することができるので、設計者たちは柔軟に革新的なデータセンター・アプリケーションを開発できます。私たちは共に、

PRESS RELEASE

〒153-0042 東京都目黒区青葉台4-7-7
青葉台ヒルズ7F
www.avagotech.co.jp



アバゴの QSFP+eSR4 モジュールが 10 ギガビットおよび 40 ギガビットイーサネットの相互で動作し、リンク距離仕様を満たした事を実証しました」と、コメントしています。

過去の 10G イーサネットスイッチは、SFP+、XFP、X2 などのフォームファクタを使用した 10GBase-SR 仕様に基づいていますが、標準 QSFP+モジュール 40GBASE-SR 仕様との相互接続性は確実なものではありません。アバゴの QSFP+iSR4 および eSR4 モジュールはどちらも、これらのフォームファクタすべてと相互接続性があります。さらにこのモジュールは、どちらも高い信頼性を持つアバゴの 850nm 垂直共振器面発光レーザ (VCSEL) 技術と PIN 検出器技術を取り入れており、最大 176 個の有効な 10 ギガビットポートが 1 つのラックで可能になります。

尚、アバゴ・テクノロジーでは、3月6日(火)から8日(木)までの3日間、米国カリフォルニア州ロサンゼルス・コンベンションセンターの OFC/NFOEC 2012 展示会のコーポレート・ビレッジ 1357 番ブースにおいて、QSFP+iSR4 および eSR4 モジュールを高速光ファイバ・ソリューションのさまざまな製品とともに実演デモいたします。また、アバゴの・テクノロジーは、以下のパネルディスカッションに参加いたします。

3月8日(木) 午前10時15分～午後12時15分: 高集積フォトニクスに関するマーケット・ウォッチパネルIV

3月5日(月) 午前8時～午前11時: 「データセンターの光学系: 大量のデータの効率的な転送と制御」と題したワークショップ

価格と供給について

AFBR-79EIDZ QSFP+iSR4 モジュールのサンプル提供および量産販売は、アバゴ・テクノロジーの正規販売代理店を介して行っております。

アバゴ・テクノロジー社

日本法人: アバゴ・テクノロジー株式会社(本社: 東京都目黒区、代表取締役社長: 米山周)

アバゴ・テクノロジーは、通信、産業、民生向けアナログ・インターフェース機器のグローバルリーディング・サプライヤです。当社の主力製品は、アナログ、ミクスドシグナル、オプトエレクトロニクスの部品やサブシステムなど多岐にわたっています。ターゲット市場は、インダストリアル / 自動車、情報通信 / エンタープライズ・ネットワーク、携帯電話/ワイヤレス・コミュニケーション、そしてコンピュータ周辺機器の4つの市場にわたり、革新的、高機能そして高品質製品を提供しています。また、世界中に技術サポートおよびカスタマーサービス拠点を有し、お客様をサポートしています。アバゴ・テクノロジー技術革新の伝統は、50年前のヒューレット・パッカーに遡り、そしてアジレントの時代から受け継がれてきたものです。詳しくは当社のウェブサイト www.avagotech.co.jp をご覧ください。

###

Avago, Avago Technologies, および A のロゴは、米アバゴ・テクノロジー社、またはその子会社もしくは関連会社の商標です。

本件に関するお問い合わせ先 (報道関係者) :

アバゴ・テクノロジー株式会社

コーポレートマーケティング&コミュニケーションズ カルデラ久美子

TEL : 03-6407-2704

kumiko.caldeira@avagotech.com